

テロを許さない街づくりを目指して！

テロリストは、テロの準備段階において綿密な偵察活動を行います。

例えば・・・

① 防犯カメラの有無やその位置を確認している

② 従業員、警備員の動きを気にしている

(目が合うと立ち去ろうとする)

③ バスや電車が行き来しているにもかかわらず、バス停、駅構内やホーム等に長時間いる

④ レンタカーで施設周辺を徘徊している

など、不審な状況を把握した場合には警察に通報してください。



～ 施設管理者の皆様へ ～

◎ 防犯カメラの設置、増設を検討し、警戒体制を強化しましょう。

◎ 防犯カメラは犯罪の抑止や事件解決に大きな効果があります。

防犯カメラ運用上のチェックポイント

- ☑ 撮影範囲は適正か、出入口等の必要な箇所が写っているか
- ☑ 録画機能は付いているか、一定期間保存しているか
- ☑ 画質や鮮明度は人の顔や車両番号の識別が可能か
- ☑ 日付と時刻の表示は正確か
- ☑ システムは常時作動しているか
- ☑ 十分な台数を設置しているか
- ☑ 雨風等により設定範囲が変わっていないか

“誰か”ではなく“あなた”の行動が、テロを防ぎます！

首都直下地震等による東京の被害想定公表

都は5月25日、10年ぶりに首都直下地震等による被害想定を公表しました。新たな想定では、平成24年に公表した以降の建物の耐震化や木造密集市街地の不燃化対策が進み、被害は減少すると想定されています。

想定地震	規模	発生確率
都心南部直下地震 多摩東部直下地震	M7.3	今後30年以内70% (南関東地域におけるM7クラスの確率)
立川断層地震	M7.4	今後30年以内 0.5～2%
大正関東地震	M8クラス	今後30年以内0～6% (180年から590年の発生間隔)
南海トラフ巨大地震	M9クラス	今後30年以内 70～80% (南海トラフの地震M8～M9クラスの確率)

被害想定 (首心南部直下地震)

都内で最大規模の被害が想定される地震で、震度6強以上の範囲は区部の約6割に広がる。

○建物被害19万4,431棟

○死者6,148人

○避難者数約299万人

○帰宅困難者約453万人

○自力脱出困難者数3万1,251人



※ 詳細は、東京都ホームページを確認してください

被害は減少すると想定されたものの高齢化や高層マンションの避難など課題は多数あります。

「いつ起こるかわからない」自然災害に対して「想像と準備」をしておきましょう！